

次代を担う人づくりを

党愛知県議団

企業などが設立した学校を視察



海陽中等教育学校の寮内を視察する
党愛知県議団(右側)

公明党愛知県議団(木藤俊郎団長)はこのほど、企業を中心となって設立した同県蒲郡市にある全寮制の海陽中等教育学校(中島尚正校長)を訪れ、企業の若手社員が同校の寮で暮らしながら生徒をサポートする「フロアマスター制度」などについて視察した。

フロアマスター制度とは、学校と契約している企業25社から若手社員が同校の寮に1〜2年出向し、寮の運営をサポートするもの。日誌交換や勉学の相談を通じ、社会人としての経験を生かしてアドバイスをする。また、若手社員にとっても異業種間での交流ができ、貴重な機会となる。

同県議団のメンバーは、寮や校舎など校内を視察し、課題や今後の取り組みについて中島校長らから話を聞いた。中島校長は「夢や志を探しやすい環境にしていきたい」と語っていた。

視察後、木藤団長らは「幅広い視野で人材育成を進めていきたい」と述べ、次代を担う人づくりに積極的に取り組む姿勢を示した。